

# 労働時報

4

2022  
10月号

INTERVIEW



和久謙三

特集

平成34年度  
厚生労働省予算の概要

## トピックス 1

## 精神障害者の雇用を積極的に促進

## 日本ウエストン株式会社

「初めから精神障害者の役に立ちたいと思っ  
ていたわけではありません。なんとなくや  
ってみたいというのが正直なところですよ。」日  
本ウエストン㈱の白井清三会長は、当時をこ  
う振り返る。知り合いから「息子を預かってく  
れないか」と頼まれ、初めて自社の工場に精神  
障害者を雇入れたのが、約二〇年前。その後、  
そのつながりで同様の依頼が次々と舞いこみ、  
二人、三人と雇用するようになって、気がつ  
けば多くの精神障害者が工場内で働くようにな  
ったという。現在では三五人中一九人、従業  
員の半数以上に上る精神障害者が、貴重な  
労働力として経営の屋台骨を支えている。

同社の中心的事業は、工業、印刷用の機械



工場内の従業員と会話を交わす白井会長

を拭く「ウエストンタオル」のリースと販売。  
工場内では、主に回収してきた使用済みタオ  
ルの洗浄や乾燥、梱包作業が行われており、  
その全ての過程に精神障害者が係わっている。  
梱包作業が行われている部屋では、山のよ  
うに積まれたタオルを数人の従業員が取り囲  
み、折りたたむ作業が黙々と続く。やがて丁  
寧に束ねられたタオルはビニールの袋に梱包  
され、部屋の片隅へと積み上げられていく。  
この部屋で働く従業員は、そのほとんどが精  
神障害者。休憩までの間、作業は長時間に渡  
るが、彼らは皆疲れた表情一つ浮かべずに働  
き続ける。「長く勤めるうちに作業に慣れて  
きて楽しい。」「ちよっと手が疲れるけど、仕  
事は嫌じゃない。」「という彼らの話からも、  
充実した様子が窺える。

部屋の人口付近には、各従業員の作業内容  
と目標が書かれたカードが張られ、各々の役  
割がしっかりと認識できる  
ようになっている。  
この工場  
で働く人の  
中には、就職  
当時ほとんど  
仕事の手につ

## 日本ウエストン株式会社

設立：昭和45年12月  
主な事業：ウエストンタオル  
(工業用・印刷用)  
のリース及び販売、  
各種特殊クロス  
の生産及び販売ほか  
所在地：岐阜県羽島郡柳井町  
高桑556  
電話：058-279-0291

か  
ない状態だったにもかかわらず、作業を覚  
えるうちに症状が回復し、周囲とのコミュニ  
ケーションが取れるようになった人もいると  
いう。

精神障害者の雇用は、国や各自治体で重点  
的に進められている施策の一つだが、白井氏  
は「知的障害者や身体障害者の社会基盤が整  
ってきているのに対し、精神障害者の方は今  
一歩。それは、彼らの状態に波があり、順調  
に來ていても急に働けなくなる時があるから  
だと思えます。でも、都合よく利用しておい  
て、働けなくなったら排除するというのはど  
うでしょうか」と、障害者を雇用する側の  
責任について指摘する。

経営者としての一線を退いた白井氏だが、  
今年四月、精神障害者三〇人が働く「福祉工  
場」を設立。精神障害者の労働力を活かした  
新たな事業に挑戦している。



工場内の作業の様子。洗浄、乾燥が済んだタオルは梱包作業へと回される